問い合わせ先
第九管区海上保安本部海洋情報部
海洋調査課長　柴田　宣昭
電話(025)245-0118　内線 2530

平成２５年６月７日
第九管区海上保安本部

内灘海水浴場付近の流れの調査について
＊離岸流による事故根絶を目指して＊

第九管区海上保安本部では、管内の海浜域・河口域での水難事故を未然に防ぐため、昨年、離岸流によるものと思われる海水浴客の人身事故が発生した内灘海水浴場付近の流れの調査（離岸流調査）を金沢海上保安部と連携して実施します。

調 査 概 要

１　調査海域（別紙１参照）

内灘海水浴場付近

２　調査実施日

平成２５年６月２３日（日）～２７日（水）

３　調査方法（別紙２参照）

・シーマーカー（着色剤）による調査
離岸流が想定される海域にシーマーカーを漂流させ、視覚的な離岸流調査を行います。

・沿岸域用漂流ブイによる調査
離岸流発生箇所等に漂流ブイを放流し、経路及び流速を測定します。

４　その他

（１）６月２５日（火）に内灘海水浴場付近において離岸流による人身事故防止のための啓発活動を行い取材対応の場を設けます。なお荒天等により実施できない場合は翌日に順延します。（別紙３参照）

（２）離岸流とはどのようなものかについては別紙４をご覧ください。

（３）新潟地区における調査については別途ご案内します。

別紙1

離岸流等の調査海域

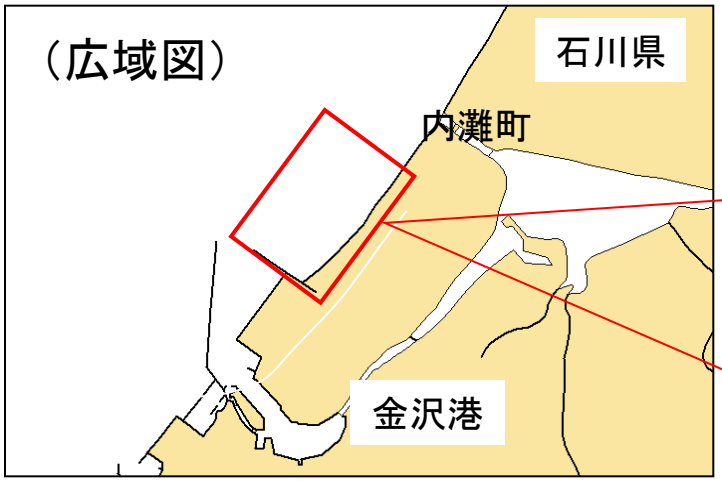
※調査海域について

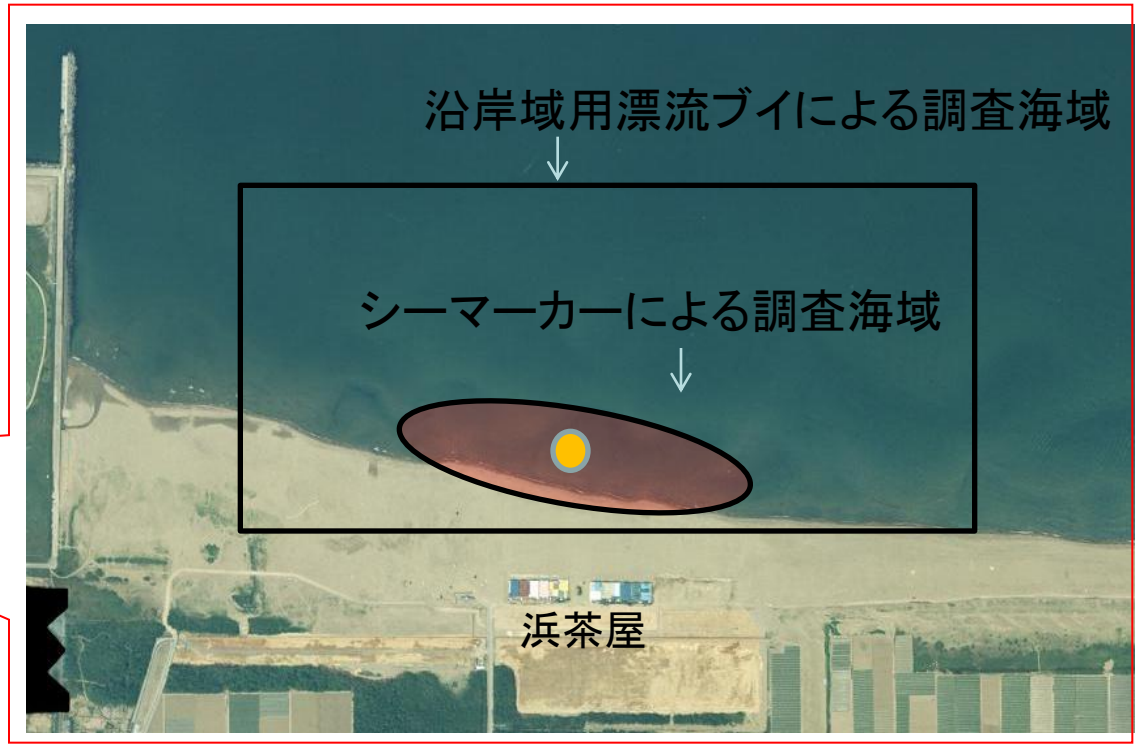
調査海域の内灘海水浴場付近は金沢市から1番近い海岸で、毎年多くの遊泳者が訪れる場所です。 金沢管内の過去3年間の離岸流によると思われる人身事故発生件数14件（内死亡事故6件）のうち、内灘では10件（内死亡事故2件）の事故が発生しました。

昨年は死亡事故はなかったものの離岸流によると思われる遊泳者の人身事故が発生したことから、再度、流れの調査と離岸流による人身事故防止のため啓発活動を行います。

：本年調査海域

：昨年の人身事故発生場所





流れ（離岸流等）の調査方法

シーマーカーによる調査

・シーマーカーを海岸より漂流させ、ビデオカメラで撮影して広域的に流れの状況を確認します。

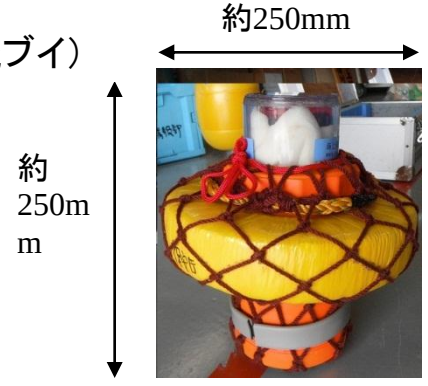
（2012年5月の調査の様子：内灘）

（2012年5月の離岸流の状況：内灘）

沿岸域用漂流ブイによる調査

・沿岸域用漂流ブイは、内蔵したGPS受信機で位置情報を取得し、流れの経路と速さを測定します。

（沿岸域用漂流ブイ）



（2012年5月の調査の様子：内灘）

別紙3

離岸流体験取材について

６月２５日に離岸流を体験していただく体験取材の場を設けます。
荒天等により実施できない場合は翌日（同時間）に順延します。
体験取材を希望される報道機関がございましたら、下記体験取材の条件のもと、アテンドいたしますので、**６月２１日（金）までに**「社名、体験者氏名、生年月日、男女別」をFAXにて金沢保安部警備救難課にご連絡をお願いします。なお、体験取材の希望が多数の場合は、時間的な制限から調整させていただきますので、ご了承ください。

集合場所　：　石川県内灘海水浴場浜茶屋付近
時間　　：　午後1時～午後3時
内容　１　シーマーカーによる調査
　　２　ブイによる調査
　　３　潜水士による漂流調査
　　４　報道機関による漂流体験

体験取材の条件
・保安部職員の指示に従うこと。
・当日体調等確認を行います。（体調不調者は中止）
・海域が危険と判断された場合又は事案対応により体験取材の一部若しくは全部を中止する場合があります。
・体験取材者は、ウエットスーツ・ライフジャケット着用として予め自社等でご準備ください。
・25日、調査活動の全部が中止となった場合は、翌26日（予備日、同時間）に実施します。なお、調査活動の一部を中止した場合は、中止項目の予備日での実施はありません。

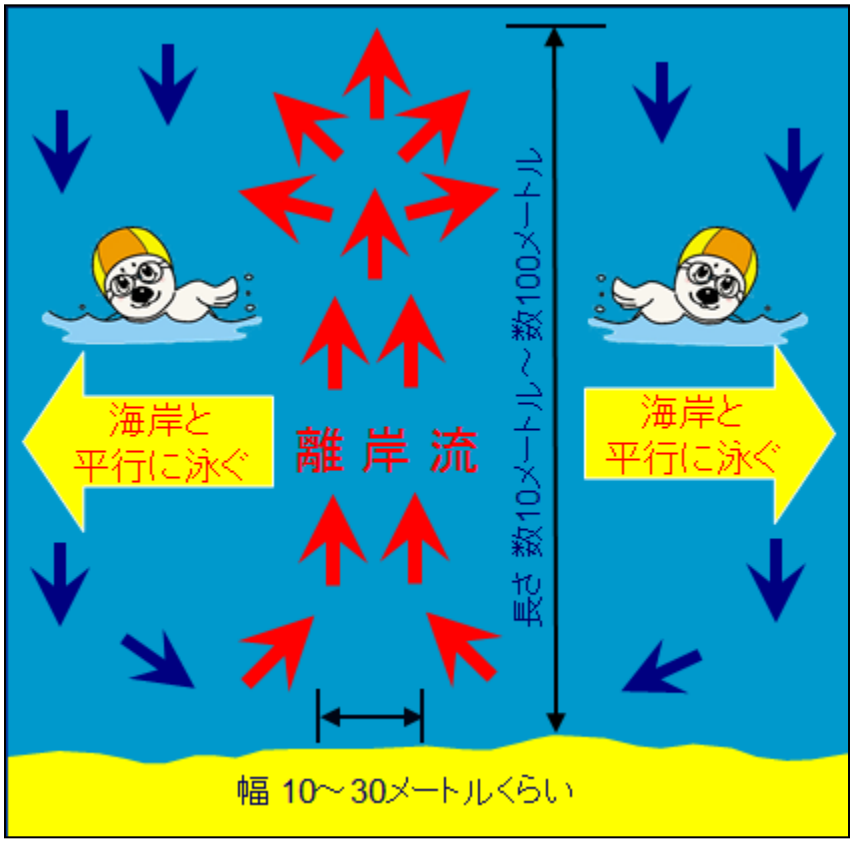
平成24年5月28日の内灘海水浴場付近における体験取材の様子

体験取材に関する問い合わせ先
金沢海上保安部警備救難課
Tel　076－266－6118
FAX　076－268－0356
専門官　塚野（調査担当）
渉外係長　西片（取材対応）

離岸流とは

波は沖から海岸へ打ち寄せますが、水はどんどん海岸にたまるので、どこからか沖に戻ろうとします。この時、海岸から沖の方へ向かう強い流れが生じます。これを「離岸流」と呼びます。

「離岸流」は海岸付近で突然発生し、一旦この流れに乗ってしまうと、流れに逆らい海岸に向かって泳ぐことが困難になります。浅瀬で泳いでいる人が背の立たない沖まで流されてしまうと、大変危険です。



離岸流の発生規模

1. 幅は10m～30mくらい。
2. 沖への長さは数10m～数100m。

離岸流からの脱出方法

1. あわてず、落ち着くこと。
2. 岸に向かわず、海岸と並行に泳いで抜けだす。
3. 抜け出たら、海岸に向かって泳ぐ。